

季刊



出雲弥生の森博物館だより
IZUMO YAYOI NOMORI MUSEUM

弥生の出雲王に出会える



マスコットキャラクター
よすみちゃん

創刊号 (2011年4月)

創刊によせて

出雲弥生の森博物館
館長 渡邊貞幸



出雲弥生の森博物館は昨年4月29日のオープン以来、幸い多くの方々から好評をいただき、一月には5万人目の入館者をお迎えすることができました。

この博物館の特色は、次のようにまとめることができるでしょう。面白くて分かりやすい博物館、研究の最前線を盛り込んだ博物館、地域に愛され支えられる博物館の三つです。

私たちは、もっともっと多くの方に、当館のこのような魅力を知っていただきたいと願っています。そのためには、もっともっと旺盛に広報活動をしなればいけないと思っています。

そこで、そのための新しい「武器」として本紙を発刊することにいたしました。当館の各種の情報をてんこ盛りにご紹介いたしますので、ぜひご愛読ください。そして、また博物館でお会いできますよう、スタッフ一同、心からお待ちしております。

出雲弥生の森博物館 西谷墳墓群(にしだにぶんぼくん)史跡公園グランドオープン!

昨年4月29日、多くの人の夢がつつまった博物館と史跡公園がグランドオープンしました。

博物館では王墓で発見されたガラス勾玉などのお宝と3号墓の模型を中心に展示しています。こうした展示物は1983年から10年間にわたる島根大学考古学研究室の発掘調査が結晶したともいえるものです。



また、出雲王が出現する斬新な展示施設を備えた2号墓も3月に完成し、博物館開館と同時にオープンしました。オープニングセレモニーでは、

マスコットキャラのデザイナー表彰があり、三谷神社投獅子舞(みたにじんじやなげじまゐ)のアトラクションが賑やかさに華を添えました。テープカットでは、笛作家の樋野達夫さんと大津小学校6年生百人による手作り土笛演奏により、会場が古代の雰囲気につつまれました。

今後、展示だけでなく、地域の歴史が学べる博物館として、皆様に愛されるよう努力していきます。



出雲弥生の森博物館だより

展示・イベント リポート
オープニングイベント

4月29日から5月9日にかけて、オープニングイベントを開催しました。館長講演会をスタートに、博物館職員によるリレー講座には多くの受講者が参加しました。また、科学館とタイアップしたオリジナル勾玉・古代鏡づくりが子ども達に好評でした。



地元のみなさんによる紙芝居・腹話術、宝探しゲームや屋台村も出て、大いに賑わいました。

開館記念特別展「弥生人の彩エッセンス 出雲王が愛した色」

開館記念特別展は、夏休みを中心に7月17日から9月20日まで開催しました。西谷の王墓の真つ赤な水銀朱（すいぎんしゅ）や、青いガラス玉、緑色のヒスイの勾玉など、全国の色彩豊かな弥生の品々を紹介するとともに、科学的にも色彩の秘密に迫りました。



このほか、藍（あい）染め、ウルシ磨きなどの夏休み体験教室では、子ども達が多数参加。ステキな夏休みの工作になりました。

古代出雲歴史探訪
ミステリーウォーク2010

出雲の文化遺産を訪ね、地域の歴史を学びながら体力づくりも目指すミステリーウォーク。5回目となる今回は、秋風が心地よい9月25日に大社地域で実施しました。参加者は北島国造家（きたじまこくそうけ）などの8か所のチエックポイントでクイズを解きながら楽しくウォーキングしました。また、休憩場所となった神門通りの協力店では、ぜんざいなどの特産品に舌鼓を打ちました。



ミニ企画展「出雲を掘る第一話」

出雲市が行なった発掘調査と研究の成果を発信する機会として開催したミニ企画展（10月23日～1月10日）。なかでも余小路遺

跡（よししょうじいせき）から出土した江戸時代の女性の脳は、見学者の注目を集めていました。同時開催のギャラリー展示では、大社町の奉納山（ほうのうざん）から出土した戦国時代の経筒（きょうづつ）を展示し、埋納された経緯や背景を紹介しました。

弥生の森 お月見コンサート

9月23日、弥生の森で虫達が涼やかなアンサンブルを聞かせるなか、博物館では地元有志によるお月見コンサートが開催されました。三味線やギター、ヴァイオリンの美しい調べに、参加者は静かに聞き入っていました。

そして、コンサートが終盤にさしかかる頃、美しい満月が空高く輝いていました。



300人の参加者が美しい調べに聞きいりました。

新発見!

とっとり・しまね発掘速報展

出雲市の高浜 遺跡(たかはま いちいせき)の日本最古の将棋盤(室町時代)が話題を呼んだ速報展(1月15日~2月13日)。

里見香奈女流名人位と清水市代女流六段が見学に来られたほか、日本将棋連盟の米長会長と奥埋文センター川原所長がこの将棋盤について熱く対談されました。



里見名人位(奥)と清水六段(手前)

企画展「東西南北2500年の交流〜矢野遺跡の調査から〜」

【期間】3/26(土)~5/16(月)
【観覧料】300円

高校生以下無料
【内容】弥生の大集落「矢野遺跡」の2500年をたどります。

特集 研究ノート

矢野遺跡(やのいせき)

矢野遺跡(出雲市矢野町)は出雲平野の真ん中にある遺跡です。古くから弥生土器が採集され、弥生時代の大きな集落遺跡として注目されてきました。

そして、その後の発掘調査で、「やの」ムラに住んだ人々の暮らしが次第に見えてきたのです。「やの」ムラには、弥生時代の初め(約2500年前)から現在に至るまで、人々が生活の営みを続けていました。そして、人々はいつの時代も様々な地域と交流していたことが明らかとなったのです。縄文時代の終わり、「やの」ムラに住み着いた人々は、出雲平野でいち早く弥生文化を取り入れます。それは、出雲平野で最も古い時期の弥生土器が見つかったことから分かります。その土器の形は九州北部(福岡周辺)の弥生土器とよく似ています。同じような形の土器は下関市(山口県)や浜田市の遺跡でも見つかります。弥生文化は九州から日本海をリレーされて伝わってきたのです。また、

弥生時代の750年間、「やの」ムラの人々は、西は九州北部・朝鮮半島、北は隠岐、東は北陸、南は岡山南部・香川など、様々な地域と交流していました。



出土した弥生土器

古墳時代の中頃(約1600年前)から飛鳥・奈良時代(約1300年前)にかけては東の近畿地方との交流が見られます。

古墳時代の中頃に、朝鮮半島からの技術によって、陶器(すえむら・大阪府堺市)で新しい焼き物・須恵器が作られ始めました。矢野遺跡では、出雲平野では珍しいごく初期の須恵器が見つかっています。この頃、近畿地方とつながる有力者が「やの」ムラにはいたと考えられます。

飛鳥・奈良時代は、人々の交流は都を中心とするものになります。矢野遺跡では、飛鳥時代の都から運ばれた土器が見つかっています。

このような土器が一般のムラで見つかるのは珍しいことです。矢野遺跡では、『出雲国風土記』の「矢野社」とみられる「社」と記した土器も見つかっています。奈良時代の歴史書には、出雲国造(いずもこくそう)とともに出雲各地の神職が上京したことが記されています。都の土器は、この神職もたらしたものでしょうか。



奈良(飛鳥)から運ばれた土器。金属の器をまねる。

平安時代から江戸時代(約1200~1500年前)にかけても交流の歴史は続き、特に国内外の陶磁器が多く見つかっています。

そして、現在、矢野遺跡の北東には出雲ドームが建ち、新たな交流の歴史を生み出しています。
(出雲市文化財課 高橋 周)

インフォメーション

来館者5万人を達成しました！

弥生の森に雪がちらつく1月27日、開館以来5万人目のお客様をお迎えしました。年間目標は2万5千人でしたから、短期間でその倍のお客様をお迎えできたことに心から感謝しております。次は10万人を目指し、スタッフ一同がんばってまいります。



1万人目の斐川町・岡田さん親子！



5万人目の斐川町・昌子さん夫妻！

島根広告賞で、2号墓の解説パネルが銀賞を受賞しました！

第35回島根広告賞で、「西谷2号墓内部パネル」が、「サイン・ディスプレイ部門」の銀賞に輝きました。作品は2月に松江市の「松江イソグレットシユガーデン」において写真パネルで紹介され、多くの皆様にご覧いただきました。実物は、ぜひ現地でご覧ください。

展示・イベントのご案内

出雲弥生の森博物館 「川柳作品展」

【期間】3/26(土)～5月末
【内容】「出雲王の眠る丘」をテーマとして募集した作品の中から、入選、佳作に輝いた作品60点を展示。

開館1周年記念 「出雲弥生の森まつり」

4/29(祝)の催し

オープニング(9時30分～) 大津小学校の児童と笛作家・樋野氏による土笛演奏、大土地神楽「八乙女」、博物館メイキング映像上映会
地元団体コーナー (10時～15時)

(屋台村、お茶席、もちつき実演販売、草花販売) 有料
(こども手芸体験、どんぐり飛ばし、吹き矢) 無料
開館1周年記念講演会 (14時～16時) 受講料3000円
【演題】四隅突出型墳丘墓の成立をめぐる
【講師】野島 永氏 (広島大学大学院文学研究科准教授)

4/30(土)～5/8(日)の催し

ものづくり体験 有料
(まが玉・古代鏡・缶ハッジ)
4/30(土)、5/3(祝)～5(祝)、5/7(土)
企画展講座 受講料3000円
5/1(日) 14時～16時
【演題】古代の矢野遺跡
【講師】高橋 周(出雲市文化財課)
企画展講座 受講料3000円
5/8(日) 14時～16時
【演題】弥生時代の環日本海交易
【講師】森本幹彦氏(福岡市教委)
博物館の裏がわ探検 無料
5/4(祝) 10時～11時・13時～14時
よすみちゃんクイズ 無料
5/5(祝) 10時～16時
地元団体コーナー 無料
出雲の伝統芸能
5/5(祝) 10時30分～11時
どんぐり飛ばし、吹き矢
5/5(祝) 13時30分～15時
古代出雲歴史博物館コーナー
5/5(祝) 10時～15時
5/8(日) 10時～13時
荒神谷博物館コーナー
5/8(日) 10時～13時
西谷墳墓群ガイド 無料

各種講座・講演会は、当館へ電話・FAXでお申込みください。(講座・氏名・住所・連絡先) 申込多数の場合お断りすることがあります。

(発行)出雲弥生の森博物館 2011年4月
〒693-0011 島根県出雲市大津町2760
(TEL)0853-25-1841 (FAX)0853-21-6617
(e-mail) yayoi@city.izumo.shimane.jp
http://www.city.izumo.shimane.jp/yayoinomori
入館料/無料(特別展等観覧料を除く)
開館時間/9:00～17:00(入館16:30まで)
休館日/火曜日(祝日の場合翌日)・年末年始

4/29(祝)、4/30(土)、5/3(祝)～5/5(祝)
文化財課職員リレー講座(3回)
第1回
5/29(日)14時～16時
【演題】鰐淵寺の調査について
【講師】石原 聡(出雲市文化財課)
第2回
6/5(日)14時～16時
【演題】出雲市内の一畑薬師灯籠
【講師】野坂俊之(出雲市文化財課)
第3回
6/19(日)14時～16時
【演題】埋もれていた古墳群
築山遺跡の調査から
【講師】原 俊二(出雲市文化財課)
(受講料 各3000円)